

意見交換において内容の充実が図られ、医師の参加者からも好評を得ています。

- ・ 講師やワークショップのファシリテーターの調整は、秋田県緩和ケア研究会が協力し、研修主催病院を支援しています。
- ・ 今後、今回推薦した病院を含む各がん診療連携拠点病院の主催により、県内各地で計画的に実施していくことにしています。

○ 緩和ケア医師を対象とした実践的な専門研修の実施

緩和ケアチームに従事する医師を対象とし、症例検討のほか、緩和ケア病棟や訪問診療・訪問看護の現場などで、それぞれの専門医がマンツーマンで指導する実践的で密度の高い緩和ケア研修を実施しています。

がん登録

○ 地域がん登録

秋田県地域がん登録委員会を組織し、地域がん登録事業を県の事業として実施しています。

○ 院内がん登録

各医療機関における院内がん登録の普及を図るため、秋田県がん診療連携協議会では、電子カルテ上で作動する院内がん登録支援システムを開発するとともに、地域がん登録の登録項目との定義・ルールの調整等を行っています。

予防・検診

○ PET-CTの導入

がんの早期発見と適切な診療の実施を推進するため、がん診療連携拠点病院にPET-CTを整備する経費を助成しています。

○ 子宮がん検診の推進

20歳から39歳の若年層について年1回の子宮がん検診の受診を推奨し、近年増加している若年層における子宮がんの早期発見、早期治療を推進するため、市町村に対して子宮頸部がん検診の実施経費を助成しています。

相談支援・普及啓発

○ 患者団体等と連携した相談支援活動の実施

- ・ 県は、患者団体等の連合組織「秋田県がん患者団体連絡協議会」（平成20年5月17日結成）の活動を多面的にバックアップし、同協議会が運営する「がんサロン きぼうの虹」をモデル事業として支援しています。
- ・ 講演会「がん患者とその家族・遺族の心のケアについて」（平成20年7月20日）、シンポジウム「がん患者による支え合いと相談支援」（平成20年8月23日）の開催などの啓発行事を、県と同協議会との協働により企画・開催し、患者等が主体となった相談支援活動を推進していくための県内における気運を醸成しています。

- ・ がん診療連携拠点病院等の相談支援センターが患者団体等との連携・協力により相談支援を実施する体制を整備する一環として、患者経験者等を対象にピアサポート研修会を開催しています。

- **セカンドオピニオンリストの作成**

秋田県がん診療連携協議会では、がん診療連携拠点病院等の主要病院についてセカンドオピニオン医師のリストや手続き等を記載した冊子を作成し、県内の医療機関に配付しているほか、ホームページに掲載しています。

医療水準の均てん化

- **地域中核病院のがん診療機能の強化**

がん診療連携拠点病院に準ずる機能をもった各二次医療圏のがん診療における中核的な病院に対して、県独自の支援制度により、その診療機能の強化を図っています。

- **テレパソロジー及びテレラジオロジーの推進**

専門医のいない医療機関における病理診断及び放射線画像診断を支援するため、通信ネットワークを活用した遠隔病理診断支援システム（テレパソロジー）及び放射線画像診断支援システム（テレラジオロジー）の整備を進めています。既にモデル地区での運用が開始しており、今後、県内での普及を図っていきます。

研究

- **がんに関する調査研究の推進**

県内の院内がん登録等から得られる診療情報の収集、罹患率等のがんの実態把握し、これらの情報の分析、がん治療に関する県への提言を得るため、秋田大学医学部附属病院へ研究を委託しています。

(2) 平成20年度がん対策事業の概要

区分	事業名	内容
1 放射線療法及び化学療法の推進並びにこれらを専門的に行う医師等の育成	<ul style="list-style-type: none"> ○がん放射線機器等整備事業【国庫補助】 ○がんプロフェッショナル養成プラン【国庫補助】 ○がん認定看護師育成支援事業【国庫補助】 ○がん看護専門研修開催事業【県単】 	<p>がん診療連携拠点病院における放射線治療機器（リニアック）の整備を促進する。</p> <p>がん多発地域におけるがん医療の均てん化を目指し、総合的がん専門医療人を養成する。（秋田大学で実施）</p> <p>がん認定看護師の資格取得を促進するための環境整備を支援する。</p> <p>がん看護に従事する看護師を対象に、化学療法や緩和ケアに関する専門的知識・技術について研修を実施する。</p>
2 治療の初期段階からの緩和ケアの実施	○秋田型緩和ケアシステム構築事業【国庫補助】	秋田県緩和ケア推進検討委員会を設置し、地域の実情に即した緩和ケア推進体制を検討する。
①治療の初期段階からの緩和ケア及び専門的な緩和ケアの推進	○開催指針に基づく緩和ケア研修事業【国庫補助】	すべてのがん診療に携わる医師等が、緩和ケアについての基本的な知識を習得するための研修会を開催する。 （「がん診療連携拠点病院機能強化事業」及び「がん診療連携拠点病院機能強化事業」によりがん拠点病院で実施）
	○緩和ケア医師実践研修事業【国庫補助】	緩和ケアチーム医師を対象とし、症例検討のほか、緩和ケア病棟や訪問診療・看護の現場での指導など、実践的で密度の高い研修を実施する。
②在宅療養・緩和ケアの充実	○在宅緩和ケア研修事業【国庫補助】	在宅緩和ケアに必要な知識の習得と関係機関の連携強化を目的とした、緩和ケア研修会を地域単位で開催する。
③緩和ケアの普及	○緩和ケア研修会の開催【国庫補助】	緩和ケアの普及を目的とし、県民を対象とした研修会を開催する。
3 がん登録の推進	<ul style="list-style-type: none"> ○地域がん登録事業【県単】 ○院内がん登録の支援【国庫補助】 	<p>がんと診断された者の医療情報を県内医療機関からの届出票により収集し、地域がん登録委員会で解析する。</p> <p>電子カルテ上で作動する院内がん登録支援システムの普及、地域がん登録との調整等。（がん診療連携協議会で実施）</p>
4 がん予防・早期発見の推進		
①がんの予防	<ul style="list-style-type: none"> ○世界禁煙デーフォーラム開催費【国庫補助】 ○受動喫煙防止対策推進事業【国庫補助】 ○たばこ・アルコール健康教育の実践事業【国庫補助】 	<p>世界禁煙デーに合わせて、PR活動とフォーラムを実施する。</p> <p>事業所等の受動喫煙対策の推進するため、受動喫煙防止対策講演会を開催。</p> <p>出前講座を活用し、県内各地域においてたばこ・アルコールに関する健康教育を推進する。</p>
②がんの早期発見	○がん診療機器等整備事業（PET-CT整備）【県単】	早期発見と適切な診療の実施を促進するため、がん診療連携拠点病院におけるPET-CTの整備費用を助成する。

区分	事業名	内容
②がんの早期発見 (続き)	○乳がん用マンモコイル緊急整備事業【国庫補助】	精密検査制度の向上を図るため、がん診療連携拠点病院におけるマンモコイルの整備を支援する。
	○子宮がん検診助成事業【県単】	20歳から39歳の若年層について年1回の子宮がん検診の受診を推奨し、早期発見、早期治療を推進するため、市町村に対し経費を助成する。
	○がん検診機器の整備(電源立地地域対策交付金事業)【国庫補助】	人間ドックや集団検診で使用する機器の整備に対して助成する。
5 がん医療に関する相談支援及び情報提供	○がん患者経験者による相談支援事業【国庫補助】	がん患者やその家族の不安の解消を図るため、患者経験者が患者の立場からがんの相談(ピアカウンセリング)に対応できるよう、研修を実施する。
	○がんサロン設置モデル事業【国庫補助】	がんに関する情報や療養上の悩み等について、療養中の患者や患者体験者等が気楽に集い語り合える場を提供できるよう、患者団体等が主体となって相談や啓発に取り組む事業に要する経費を助成する。
	○がんに関する情報提供事業【国庫補助】	がんに関するパンフレット等の作成・配付により、県民に対し、がんの医療・療養・相談窓口等に関する情報を提供する。
	○がんに関する普及啓発事業【国庫補助】	がんに関するシンポジウムを開催し、県民に対し、がんの予防や治療に関する知識の普及啓発を図る。
6 がん医療水準均てん化の促進	○がん診療連携拠点病院機能強化事業【国庫補助】	がん診療連携拠点病院において、がん医療従事者研修事業、がん診療連携拠点病院ネットワーク事業、院内がん登録促進事業、がん相談支援事業、普及啓発・情報提供事業を実施する。
	○がん診療連携拠点病院機能強化事業【県単】	地域がん診療連携拠点病院と同等またはこれに準ずる医療機能を有する地域の中核的病院の診療・連携機能の強化等に要する経費を助成する。
	○保健医療情報ネットワーク構築事業(テレパソロジー・テレラジオロジー)【県単】	通信ネットワークを利用した病理診断及び放射線画像診断などの診療情報の共有化と診療支援により、県内どこでも、質の高い医療サービスを効率的に受けられる体制を構築する。
	○がん診療施設設備整備事業(医療提供体制推進事業)【国庫補助】	がん診療連携拠点病院等に対し、良質ながん医療の提供のための設備整備に要する経費を助成する。
7 がんに関する研究の推進	○がんに関する調査研究委託事業【県単】	院内がん登録等から得られる診療情報の収集、罹患率等のがんの実態把握、これらの情報の分析、がん治療に関する県への提言等を委託。
8 その他	○がん対策推進計画進行管理費【県単】	進捗を管理する委員会を設置し、がん対策推進計画の進行管理及び達成度の評価をするとともに、計画を効果的に実践するための提言を得る。

秋田県がん対策推進計画について

第1章 秋田県がん対策推進計画について

1 策定の趣旨

- がんの粗死亡率は、平成9年から10年連続して全国1位
- がん対策は、本県の保健、医療対策の中で重要な課題
- 今後高齢化の進行により、がん罹患率、死亡者とも増加する恐れ
- このため、行政、がん患者及びその家族を含めた県民、医療従事者等が一体となつて、がん予防の普及、早期発見体制の強化、がん医療・相談支援体制の充実等に総合的に取り組むことを目的に策定

2 計画の位置付け

がん対策基本法に規定する都道府県がん対策推進計画

3 計画の期間

平成20年度から平成24年度までの5年間

第2章 基本方針

- 1 がん患者及びその家族を含めた県民の視点に立ったがん対策の推進
- 2 県民の参加と関係者の連携・協力によるがん対策の実施
- 3 特に重点をおいて取り組むべき課題と達成すべき目標を定めた総合的かつ計画的ながん対策の実施

第3章 がんをめぐる本県の現状

1 がんによる死亡の状況

- がんの粗死亡率は、昭和59年から死亡原因の第1位
- 平成18年のがんによる死亡者数は3,877人(28.6%)

2 がんの予防とがん検診及び地域がん登録の状況

- 市町村が実施している胃・大腸・肺・乳・子宮がん検診の受診率は、20~30%で推移
- 地域がん登録は、平成18年から登録事業を開始

3 医療の状況

- がん診療連携拠点病院は、7か所が指定(申請中含む)
- がんを治療する専門の医師等の医療従事者が不足

第4章 重点的に取り組むべき事項と目指すべき目標

重点的に取り組むべき事項

- がんの予防と早期発見
- 放射線療法及び化学療法法の推進と人材の育成
- がん診療連携拠点病院の整備
- 治療の初期段階からの緩和ケアの実施
- がんに関する情報提供と相談支援の充実
- がん登録の推進

目指すべき目標の設定(10年間以内)

- がんの75歳未満年齢調整死亡率の20%減少
96.1 → 76.8(人口10万対)
- 全てのがん患者及びその家族の苦痛の軽減並びに療養生活の質の維持向上

全体目標

第5章 分野別の取り組み方針(個別目標)

1 がんの予防

- (1) たばこ対策の推進
 - 未成年者の喫煙率を0%(3年以内)
 - 習慣的に喫煙する者の割合を減少(3年以内)
- (2) 食生活の改善
 - 食塩の摂取量を10g以下(3年以内)
- (3) 多量飲酒の防止
 - 多量飲酒者を0%(5年以内)
- (4) 身体活動・運動の推進
 - 日常における歩数を10,000歩(5年以内)
- (5) 大規模コホート研究の活用

2 がんの早期発見の推進

- (1) がん検診の普及・啓発等(受診率の向上等)
 - がん検診(胃・肺・大腸・乳・子宮がん)の受診率を50%以上(5年以内)
- (2) がん検診の質の向上

3 集学的治療法の推進と人材の育成

- (1) 放射線療法及び化学療法法の推進
 - 全ての拠点病院で放射線療法、外来化学療法の実施体制の整備(5年以内)
- (2) がん医療従事者の育成及び確保の推進
- (3) 標準的な治療の実施と診療ガイドラインの普及

4 がん医療機関の整備と連携体制の構築

- (1) がん診療連携拠点病院の整備とネットワークづくり
 - 全ての2次医療圏に概ね1か所程度拠点病院を整備(5年以内)
- (2) 地域における医療連携体制の整備
 - 全ての拠点病院で5大がん(肺・胃・肝・大腸・乳がん)に関する地域連携クリティカルパスを整備(5年以内)

5 緩和ケアと在宅医療の推進

- (1) 緩和医療の推進
 - 全てのがん診療に携わる医師が緩和ケアに関する基本的知識を習得(5年以内)
 - 全ての2次医療圏に緩和ケアチームを設置している医療機関を複数整備(5年以内)
- (2) 在宅医療の推進
- (3) 社会復帰のためのケアの推進

6 がんに関する情報提供と相談支援の充実

- (1) 情報提供機能の充実
- (2) 相談支援機能の充実
 - 全ての2次医療圏に相談支援センターを概ね1か所程度整備(3年以内)

7 地域における推進体制の整備

- (1) 地域における活動と患者を含む県民との協働

8 がんに関する調査と研究の推進

- (1) がん登録の推進
- (2) がん研究の推進

第6章 がん対策の推進体制と見直し

1 計画の推進体制

がん患者・家族及び患者団体を含む県民、市町村、医療機関関係者、市町村及び県が相互の連携を強化し、秋田県一体となり取り組む。

2 計画推進にかかる関係者に期待される役割

県民、がん患者・家族及び患者団体、医療機関、医療従事者等、住民組織、検診機関、医療関係団体、事業者・医療保険者等、市町村、県がそれぞれ役割を果たすことに努める。

3 達成状況の検証と計画の見直し

- (1) 県民や関係者等の意見の把握と進捗管理
- (2) 計画の見直し
 - 少なくとも5年ごとに再検討する。
 - 目標達成度の検証、評価によっては、計画期間(5年)終了前でも見直しを行う。

5 秋 田 県

人口 : 約113万人
 二次医療圏数 : 8

	都道府県拠点	地域拠点
新規申請	0	4
既指定病院	1	6
計	1	10

> 合計 : 11

「※」は、入院患者数が1,200人に満たない場合。

【新規申請病院】

大館市立総合病院	
申請区分	地域がん診療連携拠点病院
病床数	493 床
新入院がん患者数 (新入院患者数に占める割合)	※1,074 人 (19%) / 年
外来がん患者延数	4,260 人 / 年
悪性腫瘍手術総数	48 件 / 2か月
放射線治療(体外照射) [患者実数] [照射回数]	103 人 / 年 857 回 / 2か月
化学療法総数 (入院) [のべ患者数] [のべ処方日数]	106 人 / 2か月 701 件 / 2か月
化学療法総数 (外来) [のべ患者数] [のべ処方日数]	331 人 / 2か月 652 件 / 2か月
緩和ケアチーム新規依頼件数	1 件 / 2か月
病理診断件数(迅速検査件数)	424件 / 2か月 (31件 / 2か月)
相談支援センター相談件数	124 件 / 2か月
指定要件の充足度	・ 指針に定める必須要件の整備が行われている。

市立秋田総合病院	
申請区分	地域がん診療連携拠点病院
病床数	458 床
新入院がん患者数 (新入院患者数に占める割合)	2,166 人 (29%) / 年
外来がん患者延数	59,228 人 / 年
悪性腫瘍手術総数	93 件 / 2か月
放射線治療(体外照射) [患者実数] [照射回数]	124 人 / 年 181 回 / 2か月
化学療法総数 (入院) [のべ患者数] [のべ処方日数]	107 人 / 2か月 317 件 / 2か月
化学療法総数 (外来) [のべ患者数] [のべ処方日数]	125 人 / 2か月 325 件 / 2か月
緩和ケアチーム新規依頼件数	14 件 / 2か月
病理診断件数(迅速検査件数)	520件 / 2か月 (21件 / 2か月)
相談支援センター相談件数	72 件 / 2か月
指定要件の充足度	・ 指針に定める必須要件の整備が行われている。

秋田県厚生農業協同組合連合会 秋田組合総合病院	
申請区分	地域がん診療連携拠点病院
病床数	479 床
新入院がん患者数 (新入院患者数に占める割合)	1,535 人 (18%) / 年
外来がん患者延数	32,786 人 / 年
悪性腫瘍手術総数	72 件 / 2か月
放射線治療(体外照射) [患者実数] [照射回数]	102 人 / 年 579 回 / 2か月
化学療法総数 (入院) [のべ患者数] [のべ処方日数]	74 人 / 2か月 257 件 / 2か月
化学療法総数 (外来) [のべ患者数] [のべ処方日数]	63 人 / 2か月 134 件 / 2か月
緩和ケアチーム新規依頼件数	5 件 / 2か月
病理診断件数(迅速検査件数)	773件 / 2か月 (16件 / 2か月)
相談支援センター相談件数	29 件 / 2か月
指定要件の充足度	・ 指針に定める必須要件の整備が行われている。

医療法人明和会 中通総合病院	
申請区分	地域がん診療連携拠点病院
病床数	539 床
新入院がん患者数 (新入院患者数に占める割合)	2,458 人 (30%) / 年
外来がん患者延数	31,141 人 / 年
悪性腫瘍手術総数	99 件 / 2か月
放射線治療(体外照射) [患者実数]	150 人 / 年
[照射回数]	684 回 / 2か月
化学療法総数(入院) [のべ患者数]	213 人 / 2か月
[のべ処方日数]	309 件 / 2か月
化学療法総数(外来) [のべ患者数]	422 人 / 2か月
[のべ処方日数]	456 件 / 2か月
緩和ケアチーム新規依頼件数	28 件 / 2か月
病理診断件数(迅速検査件数)	729 件 / 2か月 (47 件 / 2か月)
相談支援センター相談件数	31 件 / 2か月
指定要件の充足度	・ 指針に定める必須要件の整備が行われている。

【参考: 既指定病院】

秋田大学医学部附属病院	
区分	都道府県がん診療連携拠点病院
病床数	610 床
新入院がん患者数 (新入院患者数に占める割合)	2,494 人 (32%) / 年
外来がん患者延数	68,898 人 / 年
悪性腫瘍手術総数	53 件 / 2か月
放射線治療(体外照射) [患者実数]	539 人 / 年
[照射回数]	1,808 回 / 2か月
化学療法総数(入院) [のべ患者数]	316 人 / 2か月
[のべ処方日数]	680 件 / 2か月
化学療法総数(外来) [のべ患者数]	267 人 / 2か月
[のべ処方日数]	294 件 / 2か月
緩和ケアチーム新規依頼件数	5 件 / 2か月
病理診断件数(迅速検査件数)	893 件 / 2か月 (107 件 / 2か月)
相談支援センター相談件数	84 件 / 2か月

秋田県厚生農業協同組合連合会 山本組合総合病院	
区分	地域がん診療連携拠点病院
病床数	534 床
新入院がん患者数 (新入院患者数に占める割合)	※833 人 (12%) / 年
外来がん患者延数	4,187 人 / 年
悪性腫瘍手術総数	37 件 / 2か月
放射線治療(体外照射) [患者実数]	145 人 / 年
[照射回数]	1,108 回 / 2か月
化学療法総数(入院) [のべ患者数]	84 人 / 2か月
[のべ処方日数]	298 件 / 2か月
化学療法総数(外来) [のべ患者数]	120 人 / 2か月
[のべ処方日数]	120 件 / 2か月
緩和ケアチーム新規依頼件数	1 件 / 2か月
病理診断件数(迅速検査件数)	581 件 / 2か月 (13 件 / 2か月)
相談支援センター相談件数	12 件 / 2か月

秋田赤十字病院	
区分	地域がん診療連携拠点病院
病床数	496床
新入院がん患者数 (新入院患者数に占める割合)	1,754人(18%) /年
外来がん患者延数	29,607人 /年
悪性腫瘍手術総数	139件 /2か月
放射線治療(体外照射) [患者実数]	182人 /年
[照射回数]	1,746回 /2か月
化学療法総数(入院) [のべ患者数]	71人 /2か月
[のべ処方日数]	174件 /2か月
化学療法総数(外来) [のべ患者数]	122人 /2か月
[のべ処方日数]	357件 /2か月
緩和ケアチーム新規依頼件数	33件 /2か月
病理診断件数(迅速検査件数)	1158件 /2か月 (24件 /2か月)
相談支援センター相談件数	32件 /2か月

秋田県厚生農業協同組合連合会 由利組合総合病院	
区分	地域がん診療連携拠点病院
病床数	724床
新入院がん患者数 (新入院患者数に占める割合)	1,414人(9%) /年
外来がん患者延数	16,263人 /年
悪性腫瘍手術総数	33件 /2か月
放射線治療(体外照射) [患者実数]	98人 /年
[照射回数]	521回 /2か月
化学療法総数(入院) [のべ患者数]	94人 /2か月
[のべ処方日数]	253件 /2か月
化学療法総数(外来) [のべ患者数]	55人 /2か月
[のべ処方日数]	192件 /2か月
緩和ケアチーム新規依頼件数	3件 /2か月
病理診断件数(迅速検査件数)	593件 /2か月 (23件 /2か月)
相談支援センター相談件数	65件 /2か月

秋田県厚生農業協同組合連合会 仙北組合総合病院	
区分	地域がん診療連携拠点病院
病床数	568床
新入院がん患者数 (新入院患者数に占める割合)	1,609人(20%) /年
外来がん患者延数	19,571人 /年
悪性腫瘍手術総数	77件 /2か月
放射線治療(体外照射) [患者実数]	94人 /年
[照射回数]	238回 /2か月
化学療法総数(入院) [のべ患者数]	126人 /2か月
[のべ処方日数]	210件 /2か月
化学療法総数(外来) [のべ患者数]	105人 /2か月
[のべ処方日数]	151件 /2か月
緩和ケアチーム新規依頼件数	2件 /2か月
病理診断件数(迅速検査件数)	508件 /2か月 (32件 /2か月)
相談支援センター相談件数	18件 /2か月

秋田県厚生農業協同組合連合会 平鹿総合病院

区分	地域がん診療連携拠点病院
病床数	586 床
新入院がん患者数 (新入院患者数に占める割合)	1,403 人 (16%) / 年
外来がん患者延数	4,078 人 / 年
悪性腫瘍手術総数	98 件 / 2か月
放射線治療(体外照射) [患者実数]	270 人 / 年
[照射回数]	801 回 / 2か月
化学療法総数(入院) [のべ患者数]	102 人 / 2か月
[のべ処方日数]	382 件 / 2か月
化学療法総数(外来) [のべ患者数]	96 人 / 2か月
[のべ処方日数]	297 件 / 2か月
緩和ケアチーム新規依頼件数	未設置 件 / 2か月
病理診断件数(迅速検査件数)	903 件 / 2か月 (30 件 / 2か月)
相談支援センター相談件数	70 件 / 2か月

秋田県厚生農業協同組合連合会 雄勝中央病院

区分	地域がん診療連携拠点病院
病床数	285 床
新入院がん患者数 (新入院患者数に占める割合)	※379 人 (7%) / 年
外来がん患者延数	5,796 人 / 年
悪性腫瘍手術総数	28 件 / 2か月
放射線治療(体外照射) [患者実数]	0 人 / 年
[照射回数]	0 回 / 2か月
化学療法総数(入院) [のべ患者数]	33 人 / 2か月
[のべ処方日数]	58 件 / 2か月
化学療法総数(外来) [のべ患者数]	27 人 / 2か月
[のべ処方日数]	50 件 / 2か月
緩和ケアチーム新規依頼件数	7 件 / 2か月
病理診断件数(迅速検査件数)	161 件 / 2か月 (0 件 / 2か月)
相談支援センター相談件数	5 件 / 2か月